施策評価シート （評価対象年度：令和元年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	1 広域交通ネットワーク推進活動の促進	② 施策番号	1307
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	9 関西国際空港を中心とした広域ネットワークの構築		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
総合政策部	政策推進課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	国、府及び関西国際空港運営者
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	関空を中心とした泉州地域のハード・ソフト両面の整備推進に向けた機運を醸成する。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	交通ネットワークについては概成しつつあり、さらに国は、関空の二期構想の最終推進は運営権者にゆだねるとしている等、公による取組は全体に薄い。しかし新幹線接続という機運も徐々に高まっており、今後の推移を注視する必要がある。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 交通ネットワーク整備にかかる要望の実施 計算式	回	国、府や関空運営関係者への働きかけの実態を表すものとして判りやすい。
② 計算式		
③ 計算式		

指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考	
① 交通ネットワーク整備にかかる要望の実施	回	目標値	6	6	6	6	6	
		実績値	5	6	6	—	—	
		達成率	83.3%	100.0%	100.0%			
②		目標値						
		実績値						
		達成率						
③		目標値						
		実績値						
		達成率						

[3] 施策を構成する事務事業

事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価	今後の方向性	
1 空港関係調整事業	要望・申し入れ回数	件	4	4	4	3,101	3,122	4,121	A	ア	◎
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
計	1					3,101	3,122	4,121			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	交通ネットワークの充実に向けた活動を継続的に行い実現することが広域ネットワークづくりにつながる。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	近年、要望回数及びネットワーク関連行事が増えつつあり、関空が活況を示すとともに交通ネットワーク整備に向けた機運が高まりつつあることがわかる。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	最終的な目標規模が大きいため、現時点で市民が直接関与することは考えにくい。 一方、生活利便性の観点などから、交通ネットワークを必要とする機運の醸成は進める必要があるものの、市民レベルへの浸透は現時点では難しい。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	現時点では適正だと考えている。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	やはり、関西国際空港に関することゆえ、地元泉州の9市4町が集う関空協に対し、より積極的に注力すべき。

4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	B	関西国際空港の運営に関しては、時代とともに変化しているため、常に地元自治体としてそれらと良好かつ適切な関係づくりに努める必要がある。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	現在の取組を継続しつつ、効率性を高めるよう取り組む。 また、伊丹空港、神戸空港のあり方について、情報把握・収集に努める。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	東京オリンピック・パラリンピック、大阪万博、G20、ワールドマスターズゲームズ、さらにリニア新幹線の関西接続など、近い将来関西一円に強い影響を与えるプロジェクトが多いためその影響を検討する必要がある。 また、昨今のコロナ禍の状況を注視しつつ、適切なウイズコロナの対策を講じていく。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	IR誘致、リニア新幹線に関する動向をつかむ。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	B	国や関西の府県の動向をつかむとともに、その動きと絡めるなど近隣自治体と連携による施策達成に向けた取組を引き続き進められたい。	